

# 金沢市 新産業創出

## ビジョン

2018年10月

# 目次

はじめに	1
めざす姿	2
<i>Project 1</i> 既存の市有施設等を活用した 新たな価値創造拠点の整備	3
<i>Project 2</i> 地場企業・起業家の 第4次産業革命への対応支援	6
<i>Project 3</i> 世界を視座にビジネス展開のチャンス提供	8
<i>Project 4</i> 市民生活へのA I等技術の実装	10
<i>Project 5</i> デジタル情報時代を担う子供の育成	12
<b>資料編</b> これまでの取り組み	14
第4次産業革命における 高付加価値型産業創出検討会について	17

AI<sup>\*1</sup>（人工知能）やIoT<sup>\*2</sup>（モノのインターネット）、ロボット等の技術革新が進む第4次産業革命の時代においては、地域経済の持続的な成長と市民の快適な暮らしの向上をめざし、地域産業の強みを活かして、迅速かつ的確に、高付加価値型産業の創出や地場企業・起業家の支援、都市の規模や時代の要請に応じた企業の誘致促進、デジタル情報社会に対応した人材育成を図ることが求められています。

本市では、これまで、2009（平成21）年に、ものづくり基本条例を制定し、翌年、その行動計画となるものづくり戦略、伝統工芸品産業アクションプランを策定するとともに、2016年には、観光戦略プランを策定するなど、本市産業の健全かつ持続的な発展に向けた施策を実施し、世界の「交流拠点都市金沢」の実現に努めています。



また、第3次産業革命（IT<sup>\*3</sup>・コンピュータ・産業用ロボットによる生産の自動・効率）への対応として、1997年から、国内外のクリエイターや学生、IT企業家等が集結するeATKANAZAWA（イート金沢）を開催するとともに、2004年には、ITビジネスプラザ武蔵を開設し、創造性あふれる優秀な人材の誘致並びにその人材と市民の交流による地場企業・起業家の育成を進めてきました。

さらに、2011年にスマホアプリコンテスト、2015年にオープンデータ<sup>\*4</sup>アプリコンテスト、2017年からはシビックテック<sup>\*5</sup>コンテストを実施するなど、市民協働と産学官連携による本市産業の振興に取り組んでいます。

これらのことを踏まえ、本市では、2018年3月に「第4次産業革命における高付加価値型産業創出検討会」を設置し、4回にわたり議論を重ね、2018年10月に「金沢市新産業創出ビジョン」を策定しました。

## 本市産業の強み

### 1. まちの立地

- ・日本海側のハブとなる陸路・海路・空路の優位性
- ・大学等高等教育機関が集積する学都の機能

### 2. 独自の産業

- ・伝統工芸から繊維産業、機械・金属産業等に受け継がれている高い技術力
- ・人・モノ・情報の集積・交流による産業の独創性と多様性

### 3. まちの品格

- ・歴史や伝統、学術、文化を大切に守り、磨き高めてきたまちの個性

<sup>\*1</sup> AI (Artificial Intelligence) …人間の知的能力をコンピュータ上で実現する様々な技術

<sup>\*2</sup> IoT (Internet of Things) …モノがインターネットでつながり情報交換できる新たなサービス

<sup>\*3</sup> IT (Information Technology) …コンピュータやインターネット等のネットワークを活用し、仕事や生活に役立てる技術

<sup>\*4</sup> オープンデータ…インターネットなどを通じて誰でも自由に入手し、利用・再配布できるデータの総称

<sup>\*5</sup> シビックテック…市民自らがテクノロジーを活用し、地域や社会の課題解決を目指す取り組み

本市では、歴史に裏打ちされた産業分野での創造力、伝統工芸から現代美術の幅広い分野を網羅する文化力、高等教育機関が集積する知力など、金沢が持つ資産やポテンシャルを最大限に活用し、第4次産業革命に対応した新産業を創出します。

あわせて、働き方改革を推進することにより、2022年度を目途に、市民の快適な暮らしの向上と、地場企業の活性化に取り組めます。

## めざす姿

- 新たな価値を創造する拠点で、産学官の叡智を融合し新産業を創出します。
- 第4次産業革命に対応した環境を整え、地場企業の活力や生産性を高め、世界市場を捉えます。
- 市民生活にAI・IoT・ロボット等の技術革新を活かして、暮らしを豊かにするとともに、次世代を担う子供を育みます。

※本ビジョンは、国の成長戦略の核にAIを位置づける「AI戦略パッケージ」(2019~2021年度)の策定を見据え、本市重点戦略計画の計画期間である2022年度を目途に取り組むこととします。



## Project 1

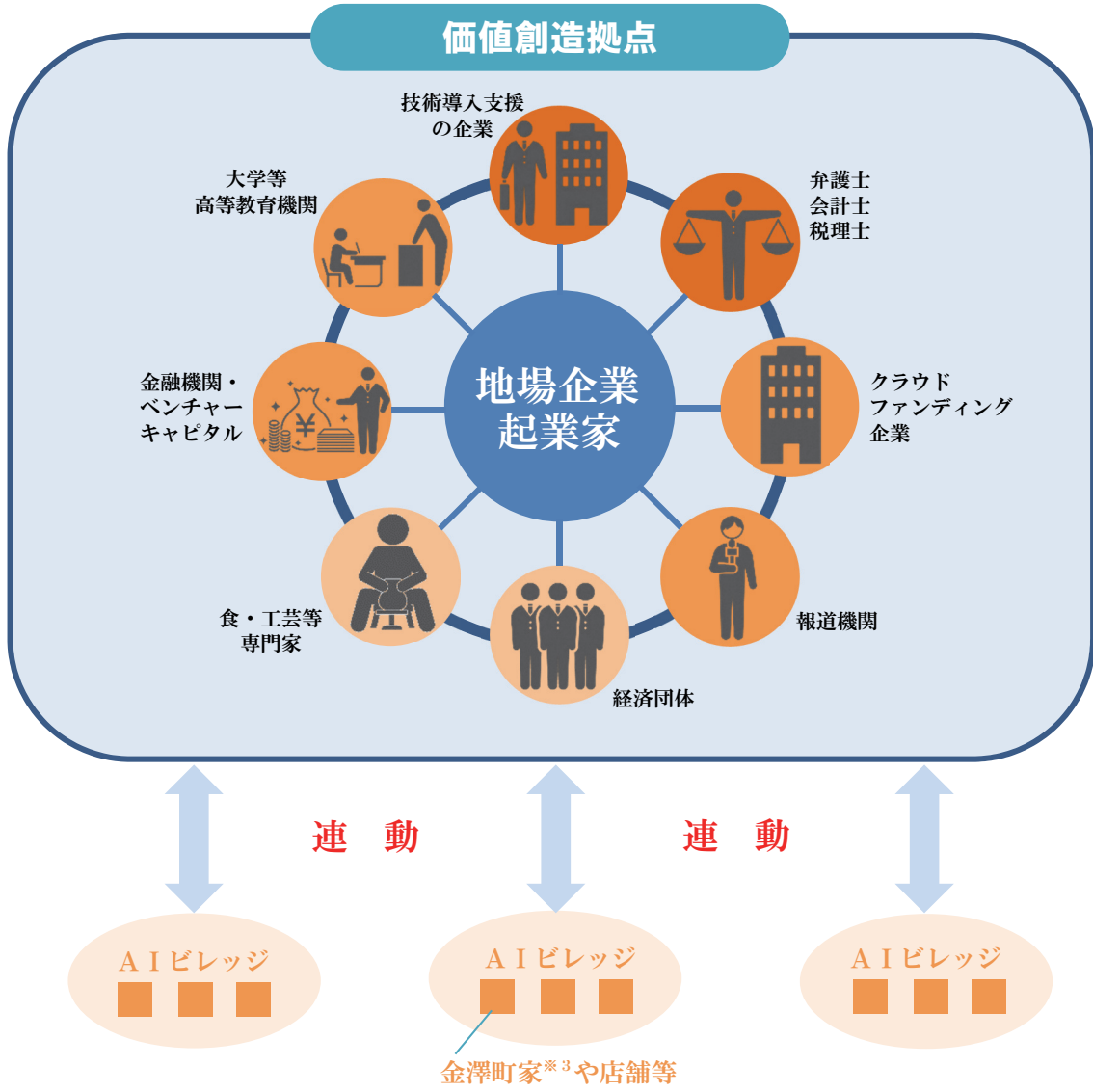
### 既存の市有施設等を活用した 新たな価値創造拠点の整備

2014年2月に策定した重点戦略計画では、世界の「交流拠点都市金沢」を実現するため、金沢独自の技芸や文化を礎とした革新的な営みにより、この地でしか生み出し得ない文化的価値が付加されたサービスや製品、知的財産を創出する価値創造拠点を整備することとしています。また、世界情勢の把握・改善に取り組む世界経済フォーラム2018では、「AI技術等の第4次産業革命が進展していく今後は、人の創造性や独自性、柔軟性が更に重要視される」と報告されたところです。

こうした時宜をとらえ、国内外の知識や情報を集積し、金沢が持つ本物の文化等の資産を活かして、広く市民が参画し産学官の叡智が融合する価値創造拠点を整備します。あわせて、AIやIoT企業が集積する金沢版AIビレッジを整備し、価値創造拠点との連動により、共創・成長するコミュニティを形成して、地場企業の活性化と若者や女性等の起業家育成を推進します。



**体制** 地場企業・起業家が、大学等高等教育機関、食・工芸等専門家、士業をはじめ、金融機関・ベンチャーキャピタル<sup>※1</sup>、クラウドファンディング企業<sup>※2</sup>、技術導入支援の企業など、様々な支援者と共創・成長するコミュニティを形成します



( 共創・成長するコミュニティのイメージ )

**機能** 子供達が自由楽しく学び、創造性あふれる優秀な人材が活躍でき、  
市民と地場企業・起業家が交流する環境を創出します



価値観を共有する  
コワーキングスペース※4



大学等が参画する  
サテライトオフィス※5



起業を支援する  
スタートアップルーム※6



自由な発想を形にする  
クリエイティブラボ※7



トップクリエイターを育成する  
人材育成プログラム



ギャラリー・多目的スタジオ

起業家向けのオフィスやシェアオフィス、日常的に開催されるセミナールーム、  
子供達が自由楽しく創作活動できるキッズクリエイティブスペース、  
論理的思考を育むプログラミング体験ルーム、  
女性や若者の活躍を支援する託児ルーム、カフェ・バー、オープンキッチン等も配置

( 国内外のイノベーション施設 )



世界屈指のスタートアップ集積地  
シンガポール国立大学関連施設  
ブロック 71



福岡市価値創造拠点施設  
Fukuoka Growth Next



柏市イノベーション施設  
KOIL

- ※1ベンチャーキャピタル…起業家に資金提供し、経営コンサルティングを行う企業
- ※2クラウドファンディング企業…インターネットを通じて事業・計画資金を調達し起業家に投資する企業
- ※3金澤町家…本市の歴史・伝統・文化を伝える昭和25年以前の建築物で、伝統的な構造・形態・意匠を有するもの
- ※4コワーキングスペース…独立して働く個人が、事務環境を共有しながら仕事を行う場所
- ※5サテライトオフィス…本拠地から離れた位置に構えるオフィス
- ※6スタートアップルーム…新たに創業する企業の成長を促す場所
- ※7クリエイティブラボ…文化やアート、プログラミング等の創造的な活動を行う空間



# Project 2

## 地場企業・起業家の 第4次産業革命への対応支援

AIを搭載したロボットや自動運転化技術等の開発が世界中で広がり、国内においては、2019年度からの5G<sup>\*1</sup>（次世代通信規格）実用化に向けた準備が進む中、本市においても、家庭や学校、職場などの市民の暮らしにAIやIoT等の技術を活かすとともに、産学官が連携した地域の産業力向上が求められています。

近年、本市では若い起業家が多数輩出されるとともに、文化度の高い金沢で暮らす市民の生活に、魅力を感じる創造的な人材が移住していることから、金沢の拠点性・利便性を活かしながら地場企業・起業家等を支援し、チャンスのあるまち金沢の実現を図ります。

### (1)5GやLPWA<sup>\*2</sup>等の最先端インフラ、RPA<sup>\*3</sup>等の先端技術を整え、 価値創造拠点の技術・ノウハウを共有し、地場企業・起業家等を支援します

#### 最先端インフラ等のサポート

- IoT技術の幅広い活用につながるLPWAの導入  
（活用分野）農林漁業、製造業、電気・ガス・水道事業、情報通信業、運輸業、卸売業、サービス業、交通事業 など



見守り 子供や高齢者等の把握

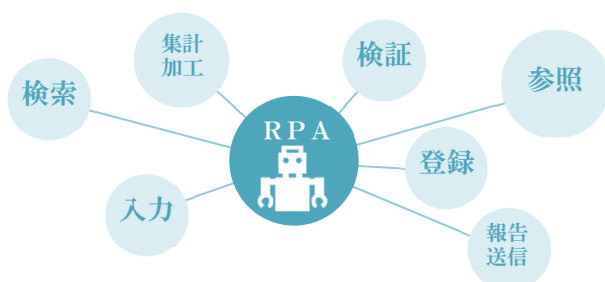


防災 災害予測・被災状況の収集



交通 交通量予測、交通誘導

- 労働生産性の向上を図るRPAの導入
- 市民や国内外からの観光客のまちなか散策に便利な電子決済の普及



RPAのイメージ



電子決済のイメージ

(EXTREME-PHOTOGRAHER/istockphoto.com/jp)

## 地場企業の相談・財政等支援

- 価値創造拠点のコミュニティによる相談・助言・指導
- AIやIoT等技術の導入を促進する商品・製品の開発・改良
- 生産性を向上する先端設備等の導入支援
- 金融機関と協力・連携した資金調達への支援



AIでタクシー需要を予測する実証実験

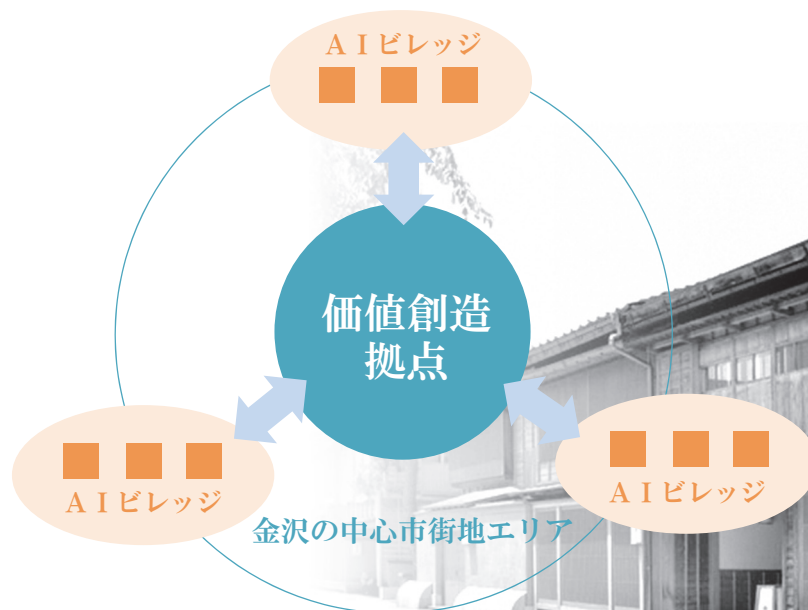


生産性を向上するAIやIoT等技術

## (2)AI、IoT企業が集積する金沢版AIビレッジの整備を進めます

### 起業家・クリエイター・ITエンジニア等の支援

- 金沢町家や中心市街地で活用できる店舗等を拠点に活動する企業、研究・学術機関の誘致とエリア集積



金沢版AIビレッジのイメージ

\*<sup>1</sup> 5G (5th Generation) …次世代通信規格。現在の4Gに比べ、約100倍の高速かつ大容量の通信を実現するもの

\*<sup>2</sup> LPWA (Low Power Wide Area) …省電力広範囲通信技術。バッテリー消費を抑えて頻繁に通信を行うネットワークに活用

\*<sup>3</sup> RPA (Robotic Process Automation) …事務処理等の定型作業をAI等のロボット機能を活用し、生産性を向上する仕組み

# Project 3

## 世界を視座に ビジネス展開のチャンス提供

北陸新幹線の金沢開業により、三大都市圏や世界との時間距離が近くなったことで、学会・大会、イベント等の開催が増加するなど、人・モノ・情報の流れが活発になっています。特に直近では、子供の論理的思考力の成長を促す世界ロボット大会の開催や、国内外の企業の技術力・人材交流を促す学会の開催等のほか、eスポーツ<sup>\*1</sup>の普及に向けた動きが顕著となっています。

これらの動きを的確に捉え、国際感覚を持つ創造力豊かな人材を育てることで、地場企業の市場拡大につながる環境をつくります。

### (1) グローバル企業・人材を呼び込む世界規模の学会・イベントを誘致します

- ロボットコンテスト、AI等学会、ベンチャー企業国際大会、eスポーツ等を誘致
- 創造性あるトップ人材等と集う機会をつくり、市民や地場企業・起業家と交流促進



WRO Japan2018 決勝大会 in 金沢



Infinity Ventures Summit 2017



茨城国体 2019 文化プログラム eスポーツ大会



世界に広がるキッズプログラマー道場

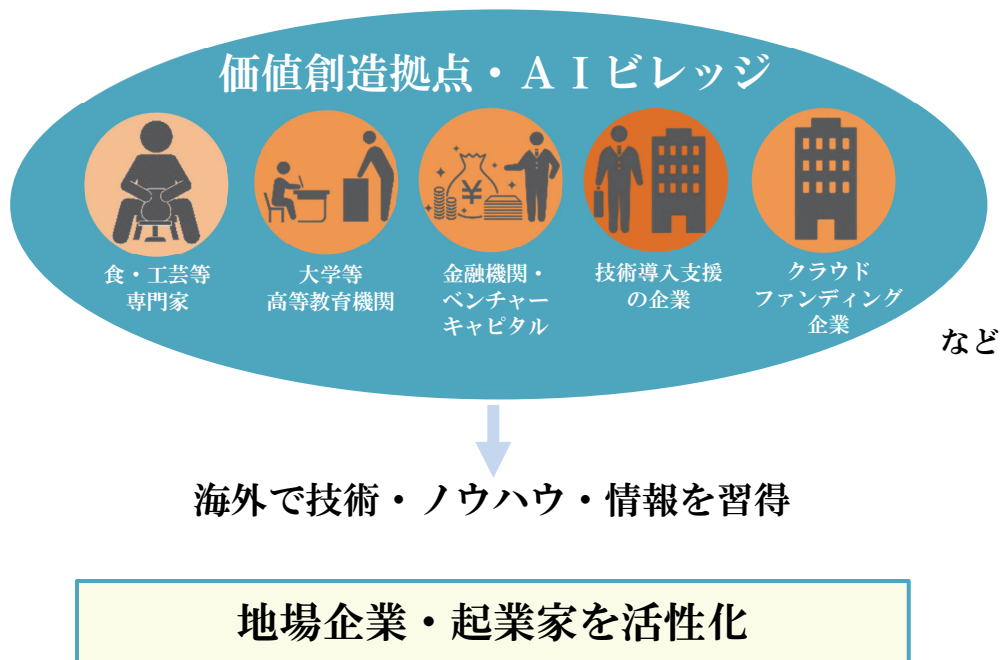


## (2) 価値創造拠点で活躍する企業人材等を、海外最先端都市へ派遣・技術交流を行います

- 海外で習得した技術・ノウハウ・情報により地場企業・起業家を活性化



海外への留学・インターンシップ・研修参加等



\*1 e スポーツ…エレクトロニック・スポーツ。電子機器を用いて行う競技で、世界的に普及が進み、アジア大会 2018 ジャカルタの公式公開競技や茨城国体 2019 文化プログラムで新たに採用

# Project 4

## 市民生活へのA I 等技術の実装

市民生活にA I 等技術を導入する事例を見ると、国内では、高齢者福祉の充実や外国人観光客の受入環境整備等に取り組むA I タクシーの導入、海外では、市民I Dによる利便性の高い行政・民間サービスを提供するエストニアの実績、東アジアや東南アジアで急速に進む電子決済などが先行しています。

歴史的なまちなみや文化が今に残る金沢において、A I 等技術をまちに溶け込ませることで、市民の豊かな暮らしを実現し、まちの品格を高めていくとともに、市民と観光客の利便性・回遊性を向上するなど、産学官が協働したA I 等技術の社会実装を図ります。



子供や高齢者等の安全安心対策



公共交通の利便性向上



観光客の回遊性向上



日常の暮らしへの備え



(1)保存と開発が調和したまちづくりに沿ったAI技術等を導入します

(2)金沢美術工芸大学や金沢卯辰山工芸工房等の研究・育成機関を活用した  
伝統工芸と先端技術を融合します

## 第1段階

大学等高等教育機関や先端企業、市民の技術・知識を活かした実証実験の推進

- 子供や高齢者等の安全安心対策  
通学児童や認知症高齢者等の見守りサポートの充実
- 公共交通の利便性向上  
最先端技術を用いた公共交通ネットワークの改善  
交通不便地域の移動手段の確保
- 観光客の回遊性向上  
公共インフラを活用した観光・イベント・災害時情報の即時性の確保  
次世代技術（AR<sup>\*1</sup>やMR<sup>\*2</sup>、自動翻訳等）を活用した体験型観光の推進
- 日常の暮らしへの備え  
豪雨や大雪などの自然災害への対応  
森林保全、獣害対策、道路維持管理への対応
- オープンデータの蓄積・活用  
市民がICT<sup>\*3</sup>技術を活用し、地域課題を解決するシビックテックの推進
- AI技術の普及推進と開発の加速化  
ブロックチェーン<sup>\*4</sup>技術を活用した電子申請の導入検証等

## 第2段階

価値創造拠点で活動する企業人材や大学等高等教育機関、地元IT関連団体と  
連携し、最先端AI等技術の社会実装の実現

<sup>\*1</sup>AR…拡張現実。実在する風景に仮想の視覚情報を重ねて表示し、目の前にある光景を拡充する技術

<sup>\*2</sup>MR…複合現実。手や足などの動きで、実際の空間に投影した立体映像を操作する技術

<sup>\*3</sup>ICT (Information and Communication Technology)…人やモノをつなげるITを使った情報伝達技術

<sup>\*4</sup>ブロックチェーン…総務省や民間企業で活用に向けた実証実験が進み、決済や履歴管理が容易で運用コストも抑えられ  
安全性が高いシステム

# Project 5

## デジタル情報時代を担う 子供の育成

2020年度より、新たな小学校学習指導要領に沿って論理的思考力を育むプログラミング教育が実施されることから、本市では、2018年5月にプログラミング活用人材育成検討委員会を設置し、就学前児童から高校生を対象とした金沢版プログラミング教育の実践に着手しました。

子供の習熟度にあわせた様々な学びの機会を提供し、地域や学校の現場において、学生や保護者、地域で活躍する高齢者等の人材を育成・登用することにより、市民が一丸となって、本市産業の将来を担う子供の育成に努めます。

### (1) 子供の習熟度にあわせたプログラミング活用人材を育成します 対象 就学前児童～高校生

#### ① デジタル情報時代を生きる金沢版ICT人材育成プログラムの実践

- 子供の主体性と対話力を育み、深い学びを習得するプログラミング教室の充実
- 就学前児童がAIやICTに触れる機会の提供



- 価値創造拠点等における指導者（メンター）や補助者（サポーター）の育成
- 公民館・児童館等の地域で支えるプログラミング教室の開催促進





## ②独創的で創造性豊かな子供を育てるプロジェクトの実施

- 独創的なアイデアを持つキッズクリエイターの育成
- イノベーションを創出するジュニアハッカソン<sup>※1</sup>等による創造的人材の発掘
- 価値創造拠点の企業人材による専門的な助言・指導・活動支援



### (2)小中学校におけるプログラミング教育を導入します

対象 小学生～中学生

- 多様な教科や単元への導入による論理的思考力と表現力の育成



- 各教科における中核的指導員の養成
- 学習意欲と効果を高める計画的なインフラ整備



<sup>※1</sup>ジュニアハッカソン…子供達がチームで、自ら決めたテーマをプログラミング技術により作品制作・解決を競うイベント

**(1) ITビジネスプラザ武蔵の取り組み****① 目的**

独創的なアイデアや独自の技術を基に、映像・デザイン等の分野で新たな起業家を育成することにより、金沢の文化を基盤とする産業を創出し、本市産業の振興につなげています。

**② 当館から起業した企業の実績（2004～2017年度）**

50社（うち市内継続28社）

**③ 貸館の実績**

年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
利用者数	47,595人	47,340人	49,687人	58,312人	58,274人

**④ サロンスペース「CRIT（クリット）」の実績（2016～2017年度）**

様々なイベントやミーティングが行われ、創造性あふれる人材が集まる場

- イベント 121回（市主催：40回、民間主催：81回）
- 利用者 約7,000人

**⑤ ITビジネスプラザ武蔵交流・創造推進事業の主な実績（2017年度～）**

- 地元クリエイター紹介イベント「モチモチトーク」20回開催、のべ551人参加  
各分野の地元クリエイターを紹介し、交流を創出するイベントを開催
- 金沢ベンチャーITフェスティバル  
IT関連の地場企業、クリエイター、学生が一堂に会する交流事業を実施
- トップクリエイターズトーク  
首都圏等の講師による起業家精神を育成するセミナーを開催
- サロン展示  
金沢美術工芸大学や石川工業高等専門学校等の学生の作品表現の場として活用
- ものづくり・AIアイデアコンテスト  
起業家、エンジニアや学生等から、ICT関連技術を利用した新たなサービス・製品のアイデアを広く募集・表彰し、創造性あふれる優秀な人材を発掘





## (2) ドローン※<sup>1</sup>やVR※<sup>2</sup>を活用した国内外での観光プロモーションの実施 及びワールドロボットオリンピアード(WRO)国内決勝大会 in 金沢の開催

### <ドローンの活用>



歴史的なまちなみや  
四季の移ろい  
夜間景観等を紹介

### <VRの活用>



寿司、おでんの食文化や  
市場セリ体験等を  
360度映像で紹介

### <市共同主催の世界ロボット大会>



高度なプログラミングで  
自動走行技術を競う子供達  
(130チーム 390人参加)

## (3) オープンデータの活用とシビックテックの実施

本市の市政情報を二次利用可能なオープンデータとして提供し、民間での利活用や市民協働によるアプリ開発等を促進する事業を展開しています。

### ① オープンデータの活用

#### 施設オープンデータ

市有施設を16分類（観光、文化・芸術、防災・消防・安全等）提供

公開 2013年1月 件数 約3,800件

データ項目 緯度経度、施設名称・概略、住所、開館時間、休館日、料金など

#### 画像オープンデータ

観光地・名所や航空写真等を提供

公開 2014年3月 件数 約950件

データ項目 撮影場所（住所・地域・緯度経度）、画像解像度、撮影日など



#### イベント情報

本市のイベント情報等をリアルタイムに配信・提供

#### 上記以外のオープンデータ

統計（推計人口・世帯数等）、バス時刻表（ふらっとバス）、生活関連情報など

※<sup>1</sup>ドローン…無人航空機。農業分野での活用や橋梁点検、空撮などの多様な分野で活用が進む技術

※<sup>2</sup>VR…仮想現実。コンピュータ技術を用いて、現実を感じる環境を作り出す技術

## ② シビックテックの実施

市民自らがテクノロジーを活用し、地域や社会の課題を解決しようとするシビックテック活動を促進

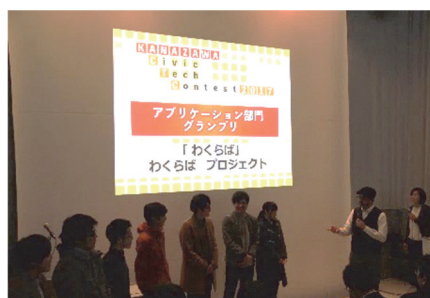
### ● アプリコンテスト（2011年度から毎年実施）

本市のオープンデータを利用した課題解決を行うアプリケーションを募集し、民間における公共データの活用や市民活動の担い手づくりを促進

2011～2014年 KANAZAWA スマホアプリコンテスト

2015～2016年 KANAZAWA オープンデータアプリコンテスト

2017年～ KANAZAWA Civic Tech Contest



### ● アプリ開発塾（2014年度から毎年実施）

学生自らが専門家のアドバイスを受けながら、課題解決につながるアプリケーション開発を通して人材を育成

2014～2015年 制作者コースを実施

2016年～ 制作者コース及び入門者コースを実施

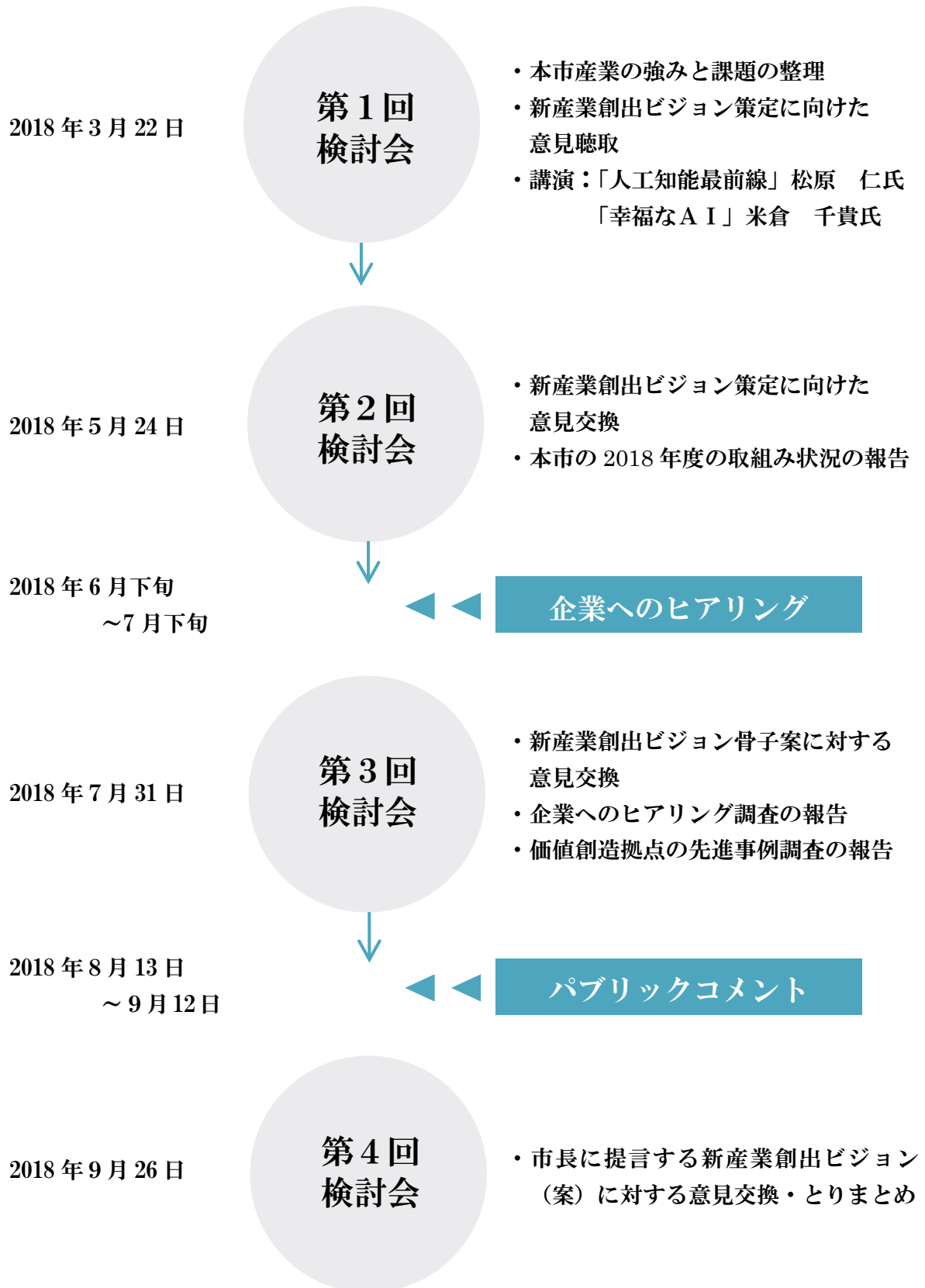


### ● Civic Tech Summit KANAZAWA 等の関連イベント開催

全国各地で活動するシビックテック団体との交流や、市民にシビックテックを周知するイベントを開催



### (1) ビジョン策定経緯



## (2) 市民や企業へのヒアリング調査

### ① 企業へのヒアリング

実施期間 2018年6月下旬～7月下旬

実施企業 23社

対象業種 農業・林業、漁業、建設業、製造業、電気・ガス・熱供給・水道、情報通信業、運輸業、卸売業・小売業、金融・保険、専門・技術、サービス業のうちデザイン、飲食業、宿泊業、交通事業者、その他

### 1. 既存の市有施設等を活用した新たな価値創造拠点の整備

#### ● 次世代の起業家を育てる基盤づくりが重要である

- ・これからの世代が、今後について語り合い・情報交換する場を創出してほしい。
- ・他県に比べ、新しく起業したり、企業経営者を育てる風土が弱い。

#### ● 企業の交流と集積を促進すべきである

- ・現在の産業分類（250種）の考えは衰退し、業種の垣根を超える企業が活躍すると考える。
- ・産学官によるアイデア出し、ネットワークづくり、資金拠出を進めていくべきである。

#### ● 情報技術コンサルタントとの連携を考えている

- ・顧客ニーズが多岐にわたるため、IoTを活用した生産ラインの改善には、複数の技術提供企業とのマッチングが必要である。
- ・AIやIoTを導入する思いはあるが、具体的に開発を依頼する企業がわからない。

### 2. 地場企業・起業家の第4次産業革命への対応支援

#### ● 技術導入に課題がある

- ・中小企業では資金確保や投資効果、需要面の議論が先行し、導入に苦心している。

#### ● LPWAの活用提案は幅広い

- ・建設現場での安全管理や資源エネルギーの有効利用、稚魚放流等で活用する考えがある。

#### ● RPAは働き方改革に有効である

- ・受発注システム等で一部先行導入し、労働時間の削減に効果がある。
- ・今後は、RPA+AIで利活用幅が大きいと考える。
- ・賃金や労働環境が厳しいサービス業、一部の製造業では、人材確保が難しい。



#### ● 電子決済・全国交通系 I C カードの利便性が活かされていない

- ・本市の電子決済は、クレジットカード決済が主流であり、商店街等で電子マネーを利用できる店舗が少ない。
- ・交通系 I C カードが 2 種類存在する状況を地域一丸で改善すべきと考える。

### 3. 世界を視座にビジネス展開のチャンス提供

#### ● 技術革新の流れを活用し、国内外へ事業を拡大したい

- ・東京五輪に向けて、国が進める外国人誘客に技術革新を上手に取り入れるべきと考える。
- ・国内外の企業での先進的な取り組みを学びたい。
- ・海外のブロックチェーン技術等の動向を捉えることが重要である。

### 4. 市民生活への A I 等技術の実装

#### ● 観光の分野で技術導入が進んでいない

- ・飲食店や旅館業は、おもてなしの人的サービスが中心であり、技術導入が遅い。
- ・飲食店に農家と直売所を連携した 6 次産業化の技術導入を図りたいと考える。

#### ● 金沢らしい資産との結びつきを考えるべきである

- ・伝統工芸等の文化と A I を結びつけ、相乗効果を上げる仕組みをつくるべきである。

### 5. デジタル情報時代を担う子供の育成

#### ● システム開発を行える人材が必要である

- ・ロボット開発テストには、人・時間・お金がかかるため、多くの優秀な人材の確保が必要である。
- ・生産性向上を図るため、出来るところから業務の改善に取り組んでおり、将来的には、A I や I o T を導入したいと考える。
- ・自社で開発できる人材はいないし、システム開発人材を集めることも難しい。

## ②ビジョン骨子案に関するパブリックコメント

実施期間 2018年8月13日～9月12日

募集方法 金沢市ホームページ「いいね金沢」への掲載や、市政情報コーナーと市経済局産業政策課内に資料配置を行い、郵送、FAX、電子メール等による市民の意見を募集しました。

意見提出状況（意見提出者数：8名）

意見総数		55件
項目別の 市民意見	めざす姿	1件
	プロジェクト 1	13件
	プロジェクト 2	6件
	プロジェクト 3	5件
	プロジェクト 4	9件
	プロジェクト 5	21件



### (3) 第4次産業革命における高付加価値型産業創出検討会

#### 委員

氏名	所属等
松原 仁 (座長)	公立はこだて未来大学 副理事長 教授 第15代人工知能学会会長
秋田 純一	金沢大学理工研究域電子情報通信学系 教授
安宅 建樹	株式会社北國銀行 頭取
大砂 雅子	金沢工業大学産学連携室 教授
大野 尚弘	金沢学院大学経営情報学部 准教授
越野 亮	石川工業高等専門学校電子情報工学科 准教授
福光 松太郎	金沢市創造都市推進委員会 実行委員長
細田 大造	金沢市 副市長
宮村 慎一郎	日本ケーブルテレビ連盟 北陸支部長
米倉 千貴	株式会社オルツ 代表取締役

(座長以降五十音順、敬称略)

#### オブザーバー

氏名	所属等
福永 泰男	サイバーステーション株式会社 代表取締役社長
三谷 忠照	三谷産業株式会社 代表取締役社長
宮田 人司	株式会社センド 代表取締役

(五十音順、敬称略)



## 金沢市新産業創出ビジョン

2018年10月 発行

金沢市経済局産業政策課

金沢市広坂1丁目1番1号

TEL (076)220-2204

FAX (076)260-7191

E-mail:sansei@city.kanazawa.lg.jp